

## 第一回 ISO/TC265 総会概要について

### ポイント:

1. 第一回 ISO/TC265 総会が、6月5日、6日に EDF(パリ:フランス電力公社)にて開催された。
2. 日本からは13名の代表団が出席し、タイトル、スコープ、WG 設置等について議論を行い、以下のとおり決定された。
  - (1)タイトル: Carbon dioxide capture, transportation and geological storage
  - (2)スコープ: Standardization of design, construction, operation, environmental planning and management, risk management, quantification, monitoring and verification, and related activities in the field of carbon dioxide capture transportation and geological storage (CCS)
  - (3)ワーキンググループ: 5つの WG を設置。
    - ①Capture, ②Transportation, ③Storage, ④Quantification and Verification, ⑤Cross Cutting Issues.

### 概要

1. ISO/TC265 総会期間, 場所:  
期間: 2012年6月5~6日  
場所: EDF (Électricité de France、フランス電力公社(Chatou))
2. 参加者数: カナダ2名、中国6名、日本13名、フランス9名、ドイツ5名、ノルウェー5名、イタリア、UK3名、オランダ3名(以上 P メンバー)、スウェーデン(CEN 代表を兼ねる)、スペイン、ブラジル(以上 O メンバー、スペインはPメンバーに変更希望)、IEA2名、IEAGHG、GCCSI2名(欠席 P-メンバー: オーストラリア、韓国、南アフリカ、スイス)
3. タイトル: Carbon dioxide capture, transportation and geological storage.  
(二酸化炭素回収・輸送・地中貯留)  
日本の主張により、Carbon capture が Carbon dioxide capture に変更された。
4. スコープ: Standardization of design, construction, operation, environmental planning and management, risk management, quantification, monitoring and verification, and related activities in the field of carbon dioxide capture transportation and geological storage (CCS)  
さらに詳細なスコーピングドキュメントについてはアドホックグループで議論し、次回 TC で決定する。
5. ワーキンググループ: 回収、輸送、貯留、定量化と検証、クロスカッティングイシューの 5 つの WG を設置することを決定した。ワーキンググループの名称と数は決議によって後日、変更される可能性がある。
6. コンビナー・WG 幹事国への関心表明  
P メンバーは 7 月 6 日までに、国際幹事に対しコンビナー・WG 幹事国への関心表明を提出することが合意された。(提出期日は 8 月 10 日に延期されている。)
7. 次回 TC 総会: 第 2 回 ISO/TC265 総会は、2012 年 12 月初旬または 2013 年初めに開催される予定。

以上

## 1. ISO/TC265 のこれまでの経緯

2011年5月にカナダから CCS について ISO 規格を作るという技術活動の新分野提案があり、投票の結果、ISO の技術管理評議会 (TMB) は CCS についての新規の専門委員会 (ISO/TC265) を設立することを 2011年10月に決定した。

ISO/TC265 の幹事国ならびに議長国はカナダであり、投票権のある P-メンバー国はオーストラリア、カナダ、中国、フランス、ドイツ、イタリア、日本、韓国、オランダ、ノルウェー、南アフリカ、スイス、英国の 13 カ国、またオブザーバー参加の O-メンバーはアルゼンチン、ブラジル、チェコ、エジプト、フィンランド、インド、イラン、ニュージーランド、セルビア、スペイン、スウェーデン、米国の 12 カ国である。

なお、第一回 ISO/TC265 総会以降にスペインが P メンバーへの変更を希望したため、現在、P-メンバーは計 14 カ国、O-メンバーは 11 カ国となっている。

## 2. 第一回 ISO/TC265 総会 主な決議事項

幹事国 : Standards Council of Canada

共同幹事国 : Standardization Administration of China

国際幹事 : Jeff Walker,

共同国際幹事 : Mei Liu,

日時 : 2012年6月5日、6日

場所 : パリ (フランス) EDF フランス電力公社

### ・決議 4(2012年パリ) : ISO/TC265 名称

ISO/TC265 は当委員会の名称を次のとおりとすることを承認した。

Carbon dioxide capture, transportation and geological storage.

(二酸化炭素回収・輸送・地中貯留)

### ・決議 5(2012年パリ) : ISO/TC265 のスコープ

ISO/TC265 はスコープを次のとおりとすることを承認した。

二酸化炭素回収・輸送・地中貯留 (CCS) 分野における設計、建設、操業、環境計画とマネジメント、リスクマネジメント、定量化、モニタリングと検証、及び関連活動の標準化。

### ・決議 6/7(2012年パリ) : ISO/TC265 のスコーピングドキュメント/アドホックグループ

ISO/TC265 は本会合で作成されたスコーピングドキュメントを作業草案として採択することを決定し、更に詳細のドキュメント作成のためのアドホックグループの設置することを決定した。このアドホックグループは次回会合の少なくとも 4 週間前に国際幹事に対して草案を提示しなければならない。

・決議 9(2012 年パリ):ISO/TC265 の体制

ISO/TC265 は次の 5 つのワーキンググループを設置することを決定した：回収、輸送、貯留、定量化と検証、クロスカッティングイシュー。ワーキンググループの名称と数は決議によって後日、変更される可能性がある。

・決議 10(2012 年パリ):ワーキンググループのココンビーナ(Co-Convenors)と幹事(Secretaries)

ISO/TC265 は、各ワーキンググループは異なる P メンバーから選出される 2 名のココンビーナによって主導されることを決定した。各ワーキンググループの幹事国 (secretariat) は、そのワーキングのココンビーナとなる P メンバーのうちいずれかが務めることとする。P メンバーは 2012 年 7 月 6 日までに ISO/TC265 国際幹事に対して、ココンビーナ及び/又は幹事国の関心表明を提出することが合意された。関心表明を連絡する際には、ココンビーナと幹事国のために提供可能な専門知識の詳細と提供できるリソースの詳細を伝えることとする。(提出期日は 8 月 10 日に延期されている。)

・決議 11(2012 年パリ):ワーキンググループのリーダーシップに関する希望を検討するためのアドホックグループ

ISO/TC265 は、ワーキンググループのリーダーシップに関するメンバーの関心表明を検討し、ISO/TC265 の議長に助言を行なうためにリーダーシップ・アドホックグループを創設することを決定した。関心表明を提出する専門委員会メンバーは 2012 年 7 月 6 日までに ISO/TC265 国際幹事に連絡することでこのアドホックグループに参加することができる。

・決議 16(2012 年パリ):次回会合

次回会合は 2012 年 12 月初旬、又は 2013 年初めに開催される。場所と日程はできるだけ早期に発表される。会議のホストに関心があるメンバーは ISO/TC265 国際幹事に連絡してほしいとの依頼があった。

### 3. 第二回 ISO/TC265 国内審議委員会開催について

第一回 ISO/TC265 総会の結果報告及び今後の対応について審議を行うため、7 月 6 日(金)に第二回 ISO/TC265 国内審議委員会を開催した。

第一回 ISO/TC265 総会で決まったワーキンググループ設置を受けて、ISO/TC265 定量化と検証 WG、クロスカッティングイシューWG の両分野を検討する Q&V・クロスカッティングイシュー国内 WG を設置することが承認された。(図 1 参照)

また、ココンビーナ・WG 幹事国への関心表明、リーダーシップ・アドホックグループへの人選について、審議を行った。

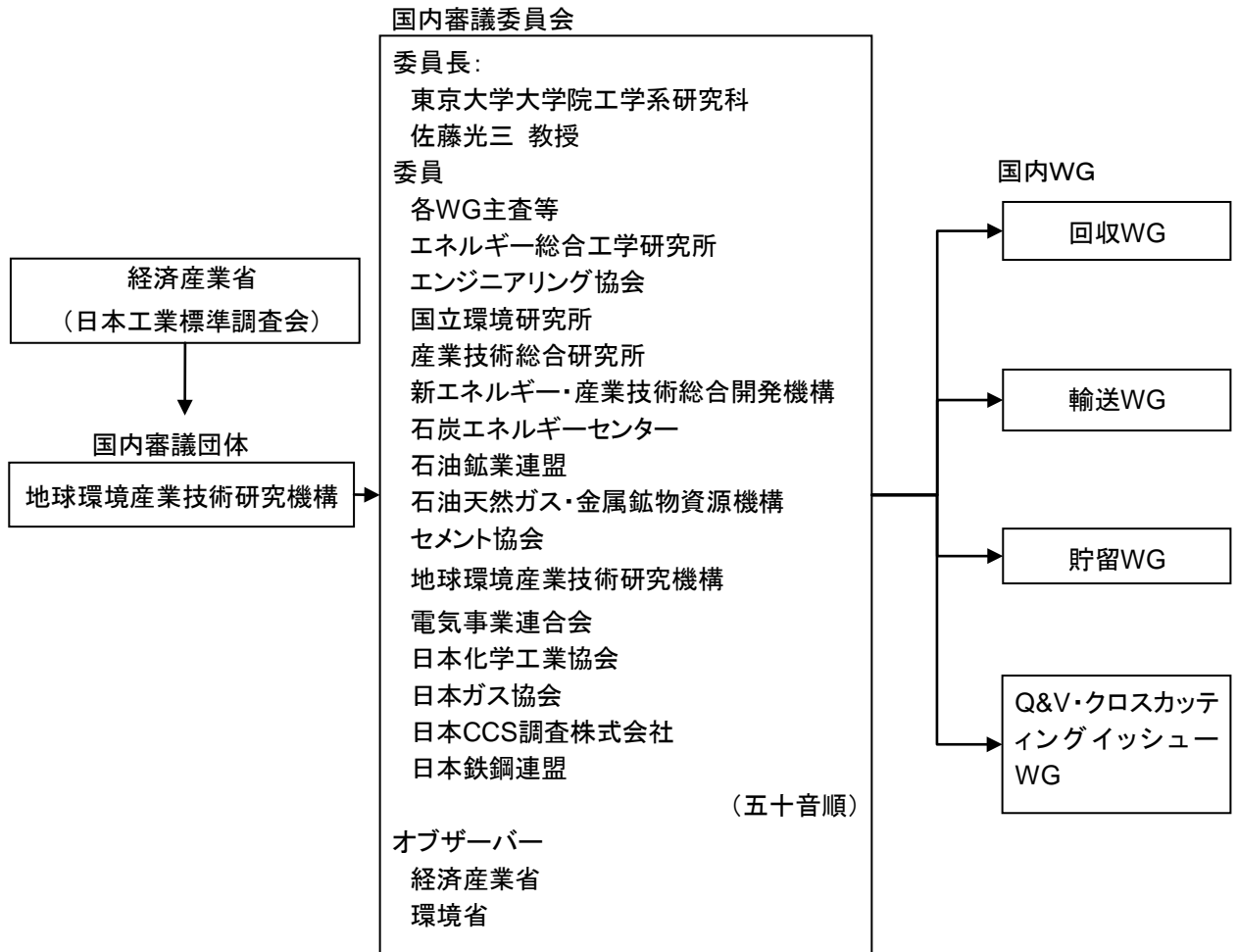


図1. ISO/TC265 国内審議委員会組織 (7月6日現在)

4. 今後の予定

12月～1月:

- ・ 12月～1月頃、第二回 ISO/TC265 総会開催予定 (開催国未定)
- ・ 上記総会の前後に、第三回 国内審議委員会開催を予定

以上